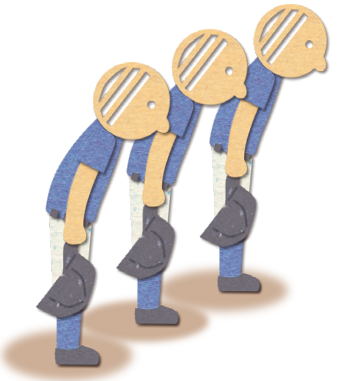
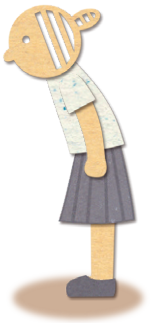
ぷかぷか漂う
第37回

ありがとーぉ ございましたー





中学一年の末っ子のスマホを取り上げ、隠し場所がわからなくなりました。隠しては見つけられ、ということを繰り返しているうちに、隠し場所の難易度が上がり、まんまと私が答えを忘れてしまいました。

スマホなんてなくていいよと思うのですが、部活の連絡がＬＩＮＥなので、それだけがどうしても困るのです。見つからないとはいっても所詮家の中。片づけていれば出てくるだろうと構えていた数日間。片づけても片づけても、ない！　ついには家族全員を巻き込んだ大掃除に発展。それでもない！　とうとう新しいスマホを買うことになってしまいました（トホホ…）。思い出せない自分に対してのショックが何よりも大きかったのですが、ついでに粗大ゴミを出したりと、家の中はすっきりしたんでね、まあよしとします。

そのあと、友人のＳＮＳに同様の投稿を見つけ、我が家の一件をコメント。すると、うちも、うちも、と他の友人たちからのコメントが続々。なんだ、同年代の母たち、みんな隠し場所忘れちゃうのね（笑）。

できる時にできることを

長男は十月からマレーシアにある大学に進学することになりました。家族全員で過ごせるのは今夏しかない！　と久しぶりのキャンプへ行ってきました。秋には親族一同で温泉旅行や墓参りの計画を立てています。うちの場合は両親、義両親とも揃って健在ですが、同年代の間ではそれも珍しくなってきました。「できる時に」と考えることが多い夏でした。

高校一年の長女も「できる時に」ということで、夏休みを利用して病院に通いました。学校の聴力検査でお知らせが来て耳鼻科へ。タイにいた中学生の間は、学校で聴力検査がなく、気づきませんでした。そう思うと日本の学校ってすごいですよね。学校で検査をしてくれて。

それから日本の部活も日本独特の文化。先生方のご負担には頭が下がります。タイのインターナショナルスクールで体育の先生が日本人生徒を絶賛していました。礼儀正しい、ボール拾いなどに体が自然に動く、基礎練習を嫌がらない、などなど。当たり前ではないのですよね。

部活ではないですが、少年野球チームの練習の声が我が家には聞こえてきます。グラウンドが近いのです。練習の最後には「ありがとーぉございましたー」という独特の間（ま）と節回しのある声が揃って、毎度ニヤけさせてもらっています。

もう一度娘の話に戻ります。娘は子宮頸がんワクチンも受けていなかったので、これも夏休みに連れていきました。手近で受けられる病院が小児科だったのでそちらへ。ワクチン接種後、「体調に変化がないか、待合室でしばらく休んでって」という指示があり、待合室で座っていました。まわりはかわいい赤ちゃんたち。場違い感あり。大丈夫そうだしそろそろ帰ろうか、もう一度お礼言って出ようと娘に合図。私のイメージでは受付に近づいてお礼を言ってくるのだろうと思ったのですが…。

「ありがとーぉ　ございましたー！」その場で直立し、病院に響き渡る大声で、しかも例の節回しで挨拶するではありませんか。赤ちゃんもびっくり。若いお父さんお母さんたちもびっくりですよ。受付の方にももちろん聞こえ、笑っておられました。場違いすぎる…。女子高生になっても不思議な子です。

文・写真
小宮華寿子
二男一女の母で編集者。『ブラジルの手しごと』著。ジュエリーと世界の手仕事ワークショップの店「メルカジーニョ」(https://mercadinho.net)代表。

イラスト・デザイン
寺沼麻美
切り絵作家、時々デザイナー。『ゆらゆらゆれる北欧風手作りモビール』(ネコ・パブリッシング)を監修。